

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年03月31日

計画の名称	島田市公共下水道長寿命化事業（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	島田市													
計画の目標	島田市公共下水道の終末処理場である島田浄化センターの機械設備について、計画的な改築を進めていくことにより長寿命化を図る。合わせて、必要な点検、調査及び本調査結果に基づく「下水道ストックマネジメント計画」の策定に着手し、効果的な安全・安心を確保する													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		174	A	174	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H29末	H31末
1	島田浄化センターの機械設備について、長寿命化事業実施率を59.4%（H27末）から100%（H29末）に増加させる。			
	長寿命化事業実施率	59%	100%	100%
	長寿命化対策実施済資産数/全対象資産数×100			
2	下水道ストックマネジメント計画を策定する。			
	下水道ストックマネジメント計画の策定率	0%	0%	100%
	管渠、処理場に係る修繕・改築計画の作成までを完了し、もって100%とする。			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	島田市	直接	島田市	終末処理場	改築	島田浄化センター長寿命化事業	島田浄化センター施設の長寿命化対策及び更新	島田市						71		策定済	
	A07-002	下水道	一般	島田市	直接	島田市	-	改築	下水道ストックマネジメント計画策定事業	耐震診断の実施とストックマネジメント計画(管渠、処理場)の策定	島田市						103		未策定	
												小計						174		
												合計						174		

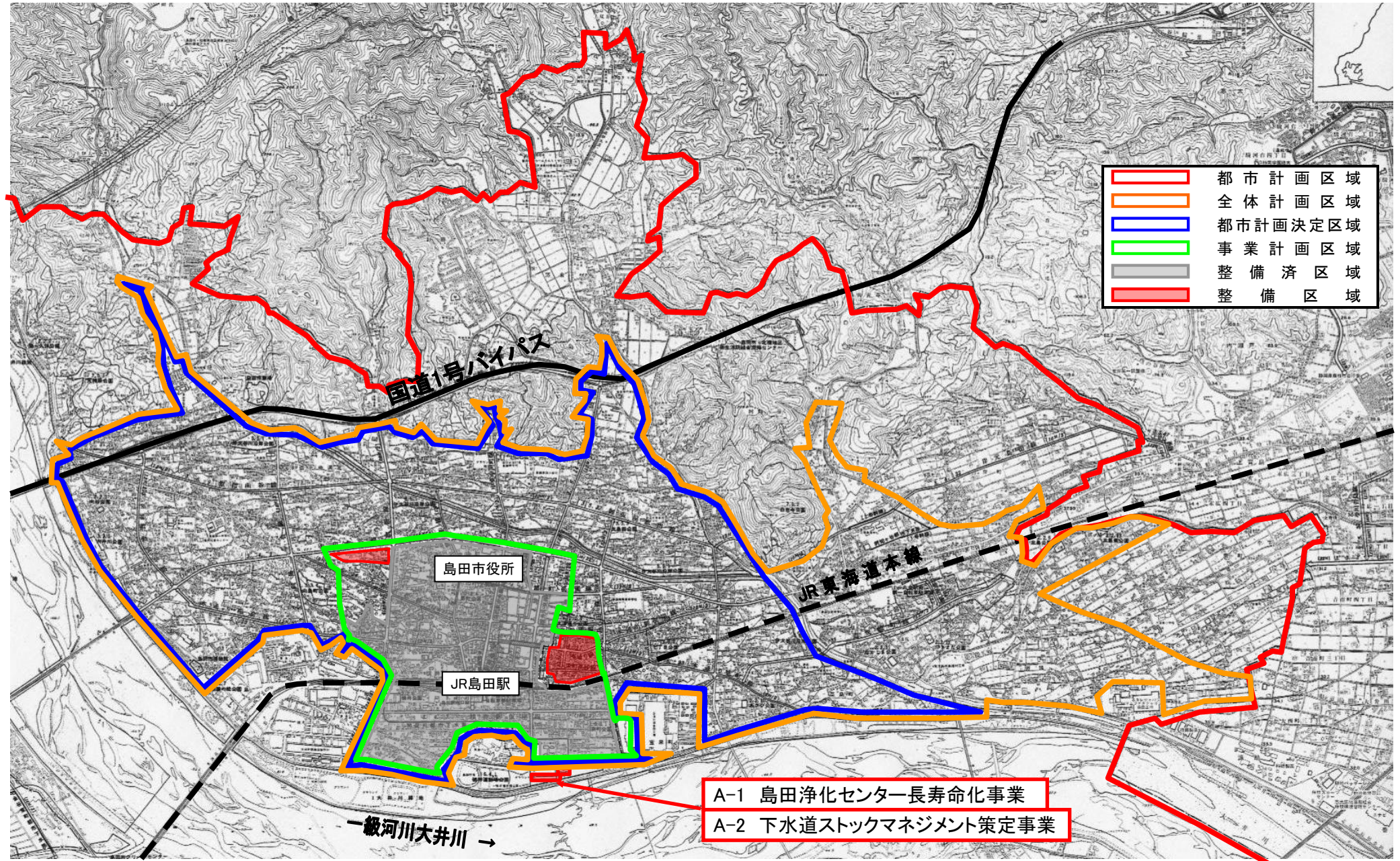
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	12	52	2	20	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	12	52	2	20	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	26	0	
支払済額 (e)	12	26	28	20	
翌年度繰越額 (f)	0	26	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	島田市公共下水道長寿命化事業 (防災・安全) (第2回変更)		
計画の期間	平成28年度～平成31年度 (4年間)	交付対象	静岡県島田市



事前評価チェックシート

計画の名称： 島田市公共下水道長寿命化事業（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	
III. 計画の実現可能性 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	